

伊達市

9 3 2 7 千葉龍人

1. 伊達市の概要と歴史

1.1 地名の由来

明治 2 年に仙台藩亙理伊達邦成とその家臣の武士達が蝦夷（現 北海道）に移住した事に始まる。仙台藩の特殊な形態と明治維新の東北戦争により困窮した伊達達が新天地を求めて移住し、開墾が成功した事により伊達の殿様の名を取り「伊達」となったと言われている。

1.2 歷史

伊達市の開拓は、1870（明治3）年、仙台藩一門亙理藩主伊達邦成とその家臣達の自費による集団移住という、他に例を見ない独特な形態で行われており、北海道の中においてはとりわけ古い歴史と伝統文化を有している。1900年に有珠郡東紋鼈村（ひがしもんべつ）、西紋鼈村（にしもんべつ）、長流村（おさる）、有珠村、稀府村（まれっぷ）、黄金薬村（おこんしべ）が合併、一級町村制が施行され伊達村となり、1924（大正14）年の町制施行を経て、1972年には道内32番目となる市制を施行、2006年3月1日、大滝村と飛地合併して現在に至っている。

図 1 伊達市の位置



出典：胆振支庁HP

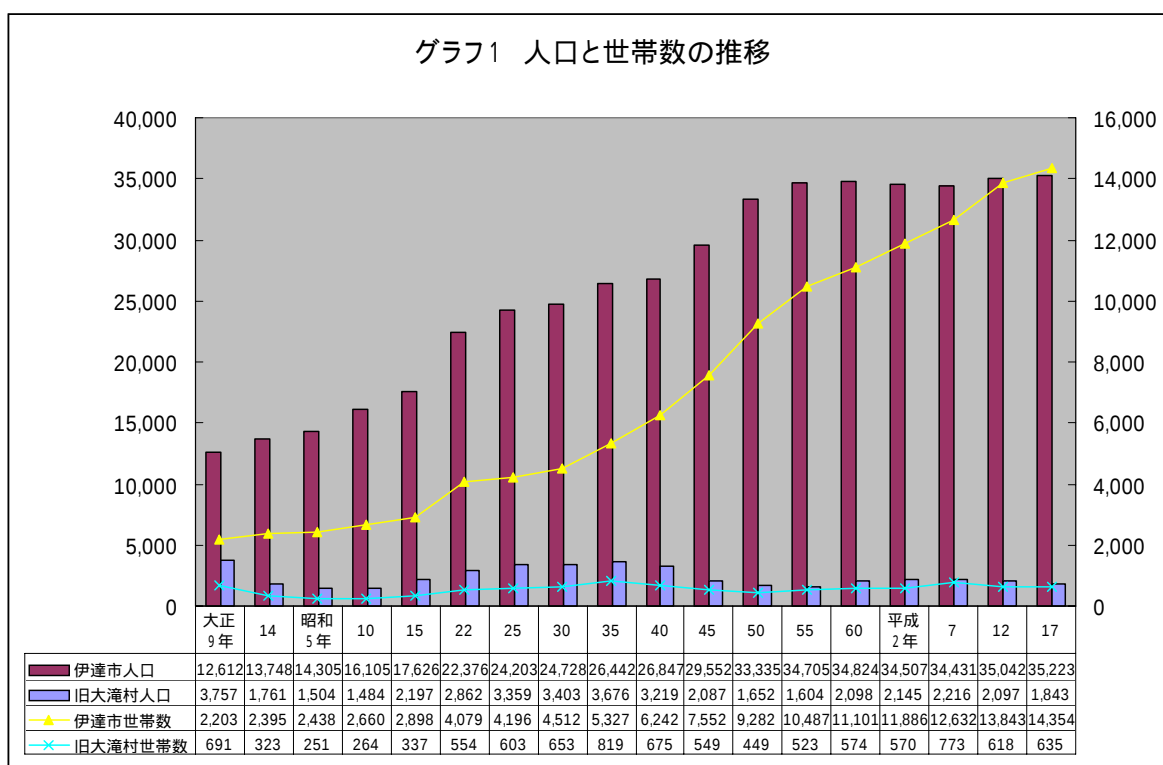
1.3 地理的概要

伊達市は総面積 444.28km²、北海道の南西部、道都札幌市と函館市の中間に位置し、南は噴火湾（内浦湾）に面している。東は室蘭市と登別市に、北及び西は壮瞥町、洞爺湖町に隣接している。伊達市の地形は、おおまかに見て河川や海岸沿いの平地、その背後の扇状地斜面、丘陵性台地と火山性山地で成っている。また北西は 2000 年と 1977 年に噴火した有珠山や昭和新山と、北東を幌別山系の分水嶺で囲まれ、噴火湾にむけなだらかな斜面がひろがっている。また長流川など数多くの中小河川が流れ、農耕地・草地などの豊かな緑地帯が広がっている。伊達市の気候は、厳しい冬の期間が長い北海道内では恵まれた気象条件をもち、「北の湘南」と呼ばれるほど、暮らしやすい地として知られている。噴火湾に面しているため、暖流の対馬海流の影響を受け、春の訪れが早

く夏・秋はさわやかで快適、初雪も 11 月と遅く、降雪量が少ない過ごしやすい気候である。

1.4 人口・世帯数の推移

旧伊達市と旧大滝村の人口は、昭和 60 年以降、ほぼ横ばいで推移しており、平成 17 年の国勢調査では 14,989 世帯、37,066 人、世帯人員は 2.47 人、平成 18 年の合併時点では、16,961 世帯、37,639 人、世帯人員 2.22 人となっており、世帯数が増加する一方、世帯人員が減少する傾向を示している。人口動態は、周辺市町村からの流入に加え、恵まれた気候風土を反映して道内外各地から移住する人が多い一方、若年層の都市部への人口流出が続いている。年齢構成をみると年少人口（0～15 歳）は、平成 7 年では 14.9%、平成 12 年では 12.9%、平成 17 年では 12.5%と、出生率の低下により漸次低下してきている。また老年人口（65 歳以上）は、平成 7 年では 19.2%、平成 12 年では 23.5%、平成 17 年では 27.0%と急速に増加傾向にあり、全道平均の 22.4%、全国平均の 21.2%を上回っており、高齢化の動きが目立ってきている。



伊達市 HP

2. 伊達市の産業

2.1 産業別人口

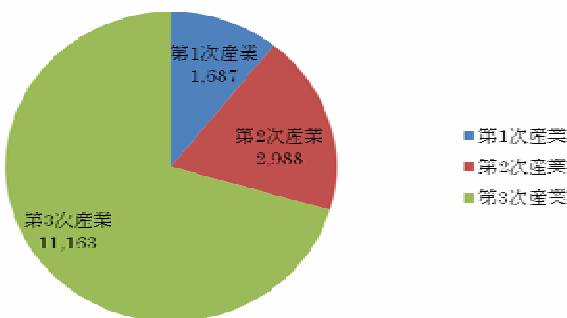
伊達市の産業別就業者数は、平成 17 年の国勢調査で見ると、第一次産業が 1,797 人（10.8%）、第二次産業が 3,038 人（18.3%）、第三次産業が 11,754 人（70.0%）となって

おり、第一次産業の比率が高くなっている。第一次産業と第二次産業は減少傾向にあり、第三次産業は増加傾向にある。室蘭市や登別市など周辺の地域と比較すると、第一次産業の農業の割合が高いことも特徴である。第二次産業では、57%が建設業である。

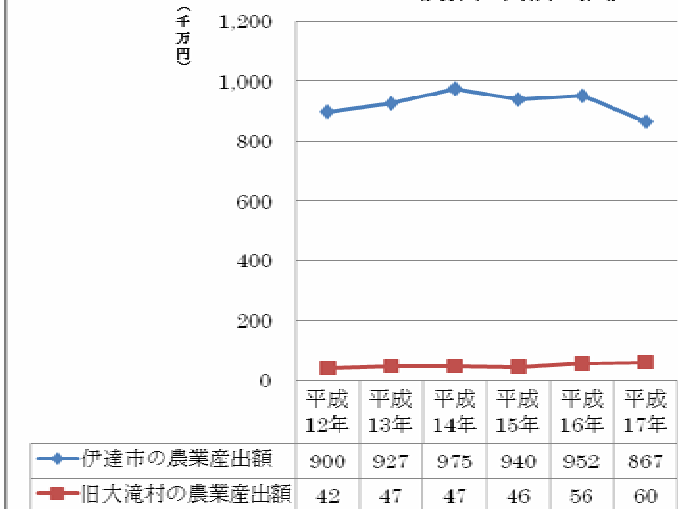
2.2 農業

伊達市の農業は明治開拓以来、先進諸国の知識や技術の先駆的導入により、寒冷地農業を確立し、北海道の模範農業として北海道の初期の開拓に大きく貢献した。その歴史を背景に、恵まれた気象・土壌・地理的条件をいかし、野菜を中心に畑作、水稲、酪農、花き栽培など多角的な複合経営を展開してある。とくに野菜は農業の中心をなし、ハクサイ・ネギ・キャベツ、大滝区ではナガイモなどが道内有数の生産量を誇っている。道央圏への野菜供給基地として大きな役割を果たしている。

グラフ2 産業別人口

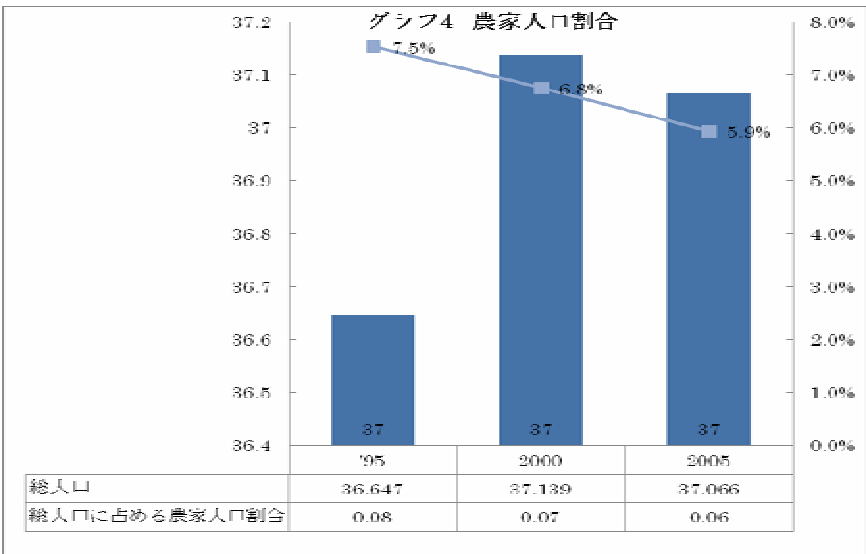


グラフ3 農業産出額の推移



出典 伊達市 HP

グラフ4 農家人口割合



出典 農林水産省 HP

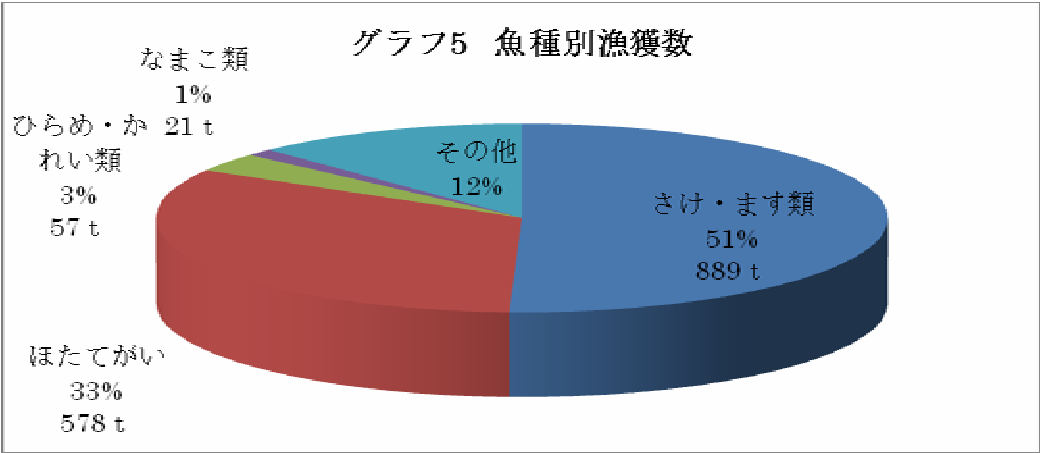
2.4 漁業

伊達市の水産業は噴火湾養殖漁業の要所にあり、ホタテ貝などの貝類の養殖漁業で発展してきた。サケの増殖事業では孵化放流技術向上のため、黄金・関内地区に伊達さけ・ます孵化場を設置し、サケの安定的な回帰をはかっている。また、伊達市には、いぶり噴火湾漁業共同組合の伊達支所・有珠支所があり、前浜漁業が営まれている。

図 2 有珠漁港



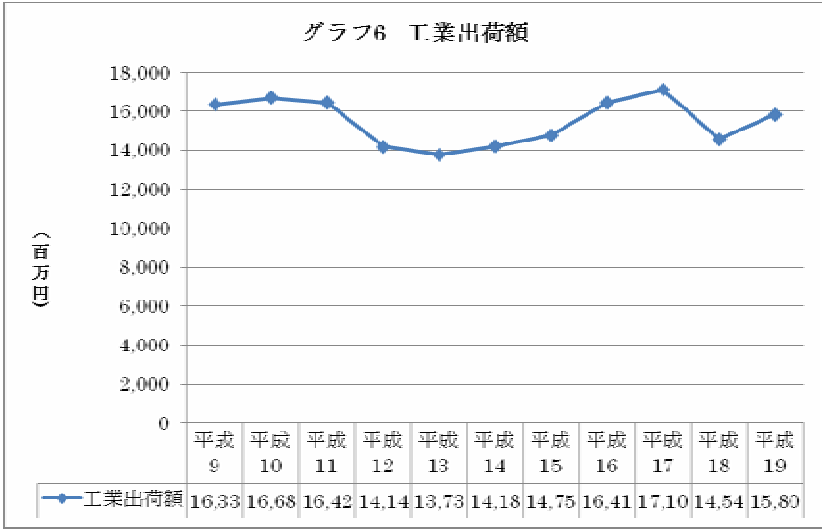
出典 室蘭海上保安部



出典 農林水産省 H P

2.5 工業

伊達市では、明治初期から農村工業が盛んで、道央地区新産業都市の指定にともなって工業が活発化し、現在では、地域で生産される農水産物を加工する食品工業を中心に発展し、その他コンクリート製品製造などが産業の重要な一翼を担っている。伊達市には松ヶ枝地区中小企業団地、伊達長和工業団地の 2 つの工業団地がある。

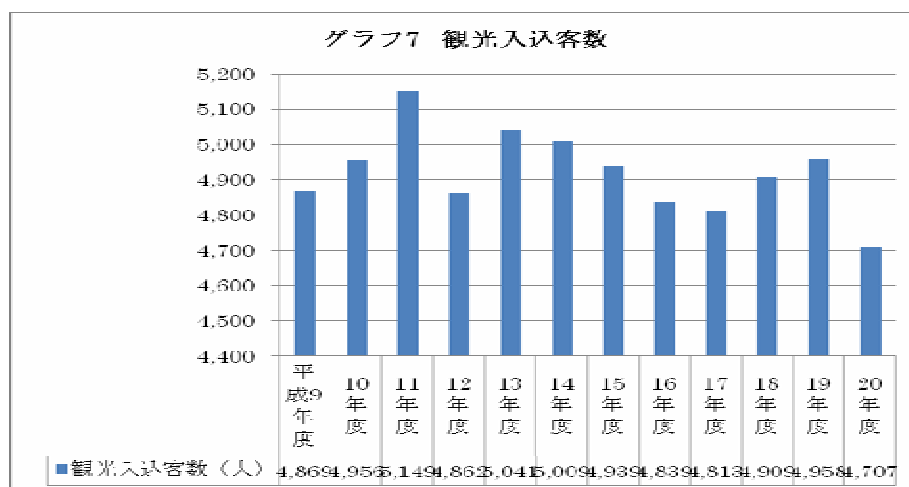


出典 伊達市 H P

3．伊達市の観光

3.1 観光入込客数

伊達市の観光入込客数は、ピークである平成 11 年度に比べ、大幅に減っている。また、道外からの観光客よりも道内からの観光客が多く、道内客は日帰りの方が多い。



出典 道庁HP

3.2 伊達武者祭り

伊達市の夏の一大イベントである伊達武者まつりは、開拓の歴史と伝統を受け継ぐ市民参加のおまつりとして昭和 48 年から始まった。伊達武者まつりは、騎馬武者を始め総勢約 300 名の甲冑武者による「伊達騎馬総陣立」や、勇壮な武者絵の山車やパワーあふれる踊りが群舞する「伊達武者山車」など、武者づくしの多彩な行事が行われる。

図 3 伊達武者祭りの様子



出典 伊達市HP

3.3 有珠海水浴場

有珠海水浴場は、噴火湾に面しており、地理的に晴天が多く、海浜は遠浅で、波がおだやかなため、子供が安心して水遊びができる海水浴場である。毎年7月第1日曜日には、海水浴場海開きにあわせて「有珠磯まつり」が開催される。近くには、アルトリ岬キャンプ場やポロノット展望台、カヌーやヨットのマリンスポーツが体験できる海洋センターなどある。また、有珠海水浴場は想い出海岸とも呼ばれている。

図 4 有珠海水浴場



出典 伊達市HP

3.4 北黄金貝塚

伊達市北黄金町の「上坂台地」と「茶呑場台地」にまたがり、約 30 万㎡におよぶ縄文時代早期～中期頃の遺跡群。5 つの貝塚と住居跡、お墓などから、多数の縄文人の人骨、石器、土器・骨角器などの工芸品が発掘された。特に、儀式的場ともなっていた水場遺構は、このような性格の遺跡としては北海道唯一の貴重なものである。また、祭祀用具の精巧な骨角器は、縄文時代の精神文化を知る重要な資料とされている。昭和 62 年に国の史跡に指定され、平成 13 年には史跡公園施設として整備され、遺跡の見学・学習の場として公開されている。

図 5 北黄金貝塚



出典 北黄金貝塚公園ＨＰ

参考ＨＰ

- 伊達市ＨＰ
<http://www.city.date.hokkaido.jp/keizaikankyou/shoko/n96bln000000ib1v.html>
- 北海道庁ＨＰ：<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/>
- 北のスロウライフ：<http://www.kitano-slowlife.jp/date/>
- 胆振支庁ＨＰ：<http://www.iburi.pref.hokkaido.lg.jp/>
- 室蘭海上保安部ＨＰ：<http://www.kaiho.mlit.go.jp/01kanku/muroran/>
- 北黄金貝塚公園ＨＰ：<http://www.funkawan.net/ktkgn.html>
- ウィキペディア
[http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BC%8A%E9%81%94%E5%B8%82_\(%E5%8C%97%E6%B5%B7%E9%81%93\)](http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BC%8A%E9%81%94%E5%B8%82_(%E5%8C%97%E6%B5%B7%E9%81%93))
- 農林水産省ＨＰ：<http://www.tdb.maff.go.jp/machimura/index.html>